



DIGITAL HEARTS HDGS.

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年2月9日

上場会社名 株式会社デジタルハーツホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3676 URL https://www.digitalhearts-hd.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 玉塚 元一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 筑紫 敏矢 (TEL) 03(3373)0081
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,313	4.1	1,183	11.0	1,245	18.0	794	21.7
2020年3月期第3四半期	15,677	8.9	1,066	△14.1	1,055	△14.4	652	△23.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 784百万円 (20.6%) 2020年3月期第3四半期 650百万円 (△46.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	36.82	—
2020年3月期第3四半期	29.81	29.26

(注) 2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,177	5,980	49.0
2020年3月期	10,637	5,438	46.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,479百万円 2020年3月期 4,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2021年3月期	—	7.00	—		
2021年3月期（予想）				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,080	9.2	1,600	14.8	1,600	16.6	1,100	38.9	51.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	23,890,800株	2020年3月期	23,890,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,277,406株	2020年3月期	2,360,727株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	21,573,056株	2020年3月期3Q	21,901,925株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) の5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	2020年3月期 第3四半期 (千円)	2021年3月期 第3四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	15,677,676	16,313,872	4.1
営業利益	1,066,236	1,183,165	11.0
経常利益	1,055,935	1,245,704	18.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	652,909	794,398	21.7

当社グループを取り巻くデジタル関連市場においては、IoT(Internet of Things)の進展やDX(デジタルトランスフォーメーション)の加速等を背景に、コンテンツやサービスの多様化が急速に進んでおります。その一方、各企業においては、その開発及び運用を支えるIT人材が慢性的に不足していることから、ソフトウェアの開発、テスト、保守・運用、セキュリティ等の支援サービスを提供している当社グループの収益機会は、今後も引き続き拡大するものと見込んでおります。

このような状況のもと、当社グループでは、2018年3月期以降「第二創業期」として、主力事業であるエンターテインメント事業のさらなる成長を追求するとともに、エンターテインメント事業に続く第二の収益の柱を育てるべくエンタープライズ事業の拡大に注力しております。特に、エンタープライズ事業においては、強固な事業基盤を構築すべく、エンジニア人材や営業人材の強化、提供サービスの拡充、効率的なオペレーション体制の構築等に対する先行投資を行って参りました。これらの先行投資の効果が徐々に発現し、当第3四半期連結累計期間のエンタープライズ事業は、売上高がこの3年間で約4倍に拡大するとともに、9か月累計では初めての黒字化を達成するなど、成長軌道への転換を着実に図ることができました。

その結果、エンターテインメント事業で一部新型コロナウイルスの影響を受けたものの、エンタープライズ事業の成長が業績を牽引し、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,313,872千円(前年同四半期比4.1%増)、営業利益は1,183,165千円(前年同四半期比11.0%増)、経常利益は1,245,704千円(前年同四半期比18.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は794,398千円(前年同四半期比21.7%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

	2020年3月期 第3四半期 (千円)	2021年3月期 第3四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	15,677,676	16,313,872	4.1
エンターテインメント事業	12,449,452	11,538,793	△7.3
エンタープライズ事業	3,228,224	4,775,079	47.9
調整額	—	—	—
営業利益又は営業損失	1,066,236	1,183,165	11.0
エンターテインメント事業	2,379,352	2,153,544	△9.5
エンタープライズ事業	△167,858	36,048	—
調整額	△1,145,257	△1,006,427	—

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益又は損失は営業利益ベースとなっております。

① エンターテインメント事業

当セグメントでは、主に、コンソールゲーム、モバイルゲーム、アミューズメント機器のデバッグ、ゲームの受託開発、プロモーション活動支援等のサービスを提供しております。

エンターテインメント事業におけるサービス別の売上高は以下のとおりであります。

	2020年3月期 第3四半期 (千円)	2021年3月期 第3四半期 (千円)	増減率 (%)
デバッグ	10,655,404	9,633,430	△9.6
クリエイティブ	940,348	1,051,668	11.8
メディア及びその他	853,699	853,694	△0.0
エンターテインメント事業 合計	12,449,452	11,538,793	△7.3

(i) デバッグ

デバッグサービスでは、主に、コンソールゲーム、モバイルゲーム、アミューズメント機器を対象に、ソフトウェアの不具合をユーザー目線で検出し顧客企業に報告するデバッグサービスや翻訳・ローカライズサービス等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、テスターが在宅でデバッグの一部を行うことができる「リモートデバッグ」を開始することで、安定的にサービスを提供して参りました。また、2020年11月に発売された新型ハード「PlayStation®5」を対象とした新規タイトルの獲得に向けた受注体制を整備するとともに、増加する翻訳・ローカライズの需要を確実に獲得するため、国内外のグループ連携を強化致しました。また、テストセンターであるLab.の統廃合や、経費削減等を通じた収益性の向上にも努めて参りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴う顧客企業における開発スケジュールの変更やアミューズメント機器の厳しい市場環境の影響を受け、当第3四半期連結累計期間のデバッグサービスの売上高は9,633,430千円(前年同四半期比9.6%減)となりました。

(ii) クリエイティブ

クリエイティブサービスでは、ゲーム開発や2D/3Dグラフィック制作等、コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般にわたる制作サポートサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、モバイルゲームの市場環境の変化により、引き続き厳しい受注環境が継続するなか、営業力や提案力の向上に努め、新規の大型案件を獲得致しました。また、各プロジェクトの採算管理を徹底することで、大幅な収益改善を実現致しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のクリエイティブサービスの売上高は1,051,668千円(前年同四半期比11.8%増)となりました。

(iii) メディア及びその他

メディア及びその他サービスでは、日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の運営やカスタマーサポートサービス等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、国内イベント関連の案件受注が減少したものの、顧客企業からの「4Gamer.net」への広告掲載は底堅く推移致しました。また、カスタマーサポートサービスでは、順調に案件を獲得致しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のメディア及びその他サービスの売上高は853,694千円(前年同四半期比0.0%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエンターテインメント事業の売上高は、デバッグ事業の減収の影響を受け、11,538,793千円(前年同四半期比7.3%減)、セグメント利益は2,153,544千円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

② エンタープライズ事業

当セグメントでは、主に、エンタープライズシステムを対象とするシステムテスト及び受託開発サービスや、ヘルプデスクをはじめとするITサポート、セキュリティ等のサービスを提供しております。

エンタープライズ事業におけるサービス別の売上高は以下のとおりであります。

	2020年3月期 第3四半期 (千円)	2021年3月期 第3四半期 (千円)	増減率 (%)
システムテスト	1,489,600	2,503,060	68.0
ITサービス・セキュリティ	1,738,624	2,272,018	30.7
エンタープライズ事業 合計	3,228,224	4,775,079	47.9

(i) システムテスト

システムテストサービスでは、主に、エンタープライズシステムの不具合を検出するサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、「第二創業期」以降実施してきた先行投資の効果が発現し、行政関連システムや企業の基幹業務システム等、専門性の高い案件の獲得が進み、取引規模の拡大及び収益性の大幅改善を実現致しました。また、これらの実績に基づく営業活動を強化するとともに、当社グループのエンタープライズシステムのテストサービスに関する認知度向上を図ることで、新規顧客開拓に努めて参りました。さらに、新たに採用したChief Technology Officer (CTO)を中心に、当社グループの技術力向上や人材強化、顧客企業が抱えるソフトウェア開発の課題をエンジニアリングによって解決する体制構築に向けた取り組みを開始致しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のシステムテストサービスの売上高は、前期連結子会社化したLogiGearグループの業績寄与の影響もあり、2,503,060千円（前年同四半期比68.0%増）と大幅増収を達成致しました。

(ii) ITサービス・セキュリティ

ITサービス・セキュリティサービスでは、システムの受託開発やITサポート、セキュリティ等のサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、システムの受託開発、保守・運用、セキュリティサービスすべてにおいて増収を達成致しました。特に、セキュリティサービスにおいては、未経験者からセキュリティ人材を育成する当社グループ独自の教育プログラム「DHサイバーブートキャンプ」の卒業生が100名を突破するなど、セキュリティ監視や脆弱性診断等の受注体制強化が進むとともに、クラウドソース・ペネトレーションテストサービスでは金融機関3社から案件を獲得するなど、着実に実績を積んで参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のITサービス・セキュリティサービスの売上高は2,272,018千円（前年同四半期比30.7%増）と増収を達成致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエンタープライズ事業の売上高は、4,775,079千円（前年同四半期比47.9%増）、セグメント利益は36,048千円（前年同四半期は167,858千円のセグメント損失）と、累計期間として第二創業以降初の黒字化を実現致しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は8,017,278千円となり、前連結会計年度末における流動資産7,453,227千円に対し、564,050千円の増加(前期比7.6%増)となりました。

これは、主として、現金及び預金が346,342千円及び受取手形及び売掛金が215,997千円増加したことによるものであります。

固定資産の残高は3,160,077千円となり、前連結会計年度末における固定資産3,183,787千円に対し、23,709千円の減少(前期比0.7%減)となりました。

これは、主として、無形固定資産のその他が130,421千円増加したものの、有形固定資産が13,320千円及びのれんが77,127千円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は5,061,155千円となり、前連結会計年度末における流動負債5,134,811千円に対し、73,656千円の減少(前期比1.4%減)となりました。

これは、主として、未払費用が79,031千円増加したものの、未払法人税等が420,687千円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は135,787千円となり、前連結会計年度末における固定負債63,734千円に対し、72,053千円の増加(前期比113.1%増)となりました。

これは、主として、長期借入金が65,312千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の残高は5,980,413千円となり、前連結会計年度末における純資産5,438,469千円に対し、541,944千円の増加(前期比10.0%増)となりました。

これは、主として、親会社株主に帰属する四半期純利益794,398千円、自己株式の処分97,625千円及び配当金の支払額302,026千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点において2020年8月11日付けで「2021年3月期通期連結業績予想に関するお知らせ」にて公表しました業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,739,104	4,085,446
受取手形及び売掛金	2,985,211	3,201,209
有価証券	165,046	158,700
たな卸資産	43,005	103,559
未収還付法人税等	214,147	4,026
その他	346,384	515,314
貸倒引当金	△39,673	△50,978
流動資産合計	7,453,227	8,017,278
固定資産		
有形固定資産	579,192	565,872
無形固定資産		
のれん	1,027,617	950,489
その他	351,663	482,084
無形固定資産合計	1,379,280	1,432,574
投資その他の資産		
投資有価証券	192,839	192,178
その他	1,041,993	979,062
貸倒引当金	△9,519	△9,609
投資その他の資産合計	1,225,313	1,161,631
固定資産合計	3,183,787	3,160,077
資産合計	10,637,014	11,177,355
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,546,384	2,552,454
未払費用	903,379	982,411
未払法人税等	550,653	129,965
賞与引当金	44,153	64,097
その他	1,090,240	1,332,227
流動負債合計	5,134,811	5,061,155
固定負債		
長期借入金	—	65,312
退職給付に係る負債	43,361	56,756
その他	20,372	13,718
固定負債合計	63,734	135,787
負債合計	5,198,545	5,196,942

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,686	300,686
資本剰余金	355,735	331,509
利益剰余金	6,904,318	7,393,124
自己株式	△2,662,635	△2,565,127
株主資本合計	4,898,105	5,460,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168	327
為替換算調整勘定	24,033	18,904
その他の包括利益累計額合計	24,202	19,232
新株予約権	13,363	13,363
非支配株主持分	502,797	487,623
純資産合計	5,438,469	5,980,413
負債純資産合計	10,637,014	11,177,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,677,676	16,313,872
売上原価	11,552,238	11,821,974
売上総利益	4,125,437	4,491,898
販売費及び一般管理費	3,059,201	3,308,732
営業利益	1,066,236	1,183,165
営業外収益		
受取利息	363	1,853
投資事業組合運用益	337	—
助成金収入	1,254	51,422
還付消費税等	1,314	—
その他	3,989	19,572
営業外収益合計	7,260	72,847
営業外費用		
支払利息	3,924	4,552
為替差損	3,205	3,476
支払手数料	4,556	238
持分法による投資損失	4,734	431
その他	1,139	1,609
営業外費用合計	17,561	10,308
経常利益	1,055,935	1,245,704
特別利益		
助成金収入	—	51,286
特別利益合計	—	51,286
特別損失		
固定資産除却損	—	13,538
投資有価証券売却損	—	2,689
事務所移転費用	—	39,856
感染症に関する費用	—	55,254
特別損失合計	—	111,338
税金等調整前四半期純利益	1,055,935	1,185,653
法人税、住民税及び事業税	398,753	335,687
法人税等調整額	1,233	49,073
法人税等合計	399,987	384,761
四半期純利益	655,948	800,892
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,038	6,493
親会社株主に帰属する四半期純利益	652,909	794,398

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	655,948	800,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	158
為替換算調整勘定	△5,718	△16,445
その他の包括利益合計	△5,611	△16,286
四半期包括利益	650,336	784,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,424	788,703
非支配株主に係る四半期包括利益	2,911	△4,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年7月17日開催の取締役会において、当社の取締役等に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式を86,556株処分を行うことを決議し、実施致しました。資本剰余金が24,225千円減少し、自己株式が97,508千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の残高は、資本剰余金331,509千円、自己株式2,565,127千円となっております。